

News Letter

【米の消費拡大に向けて】

周ちゃん広場 お米のラーメン



連日多くの買い物客で賑わう「周ちゃん広場」

お米のラーメンは、小麦のラーメンと比べて色は白く、茹でる時間が1分程度と短いことが特徴です。商品化に当たっては、米の麺と合うスープの開発に苦労しましたが、お米の麺の味を引き立てるためあっさりとした鶏ガラスープにすることで、すっきりとした味わいのラーメンにすることが出来ました。人気のため製造が追いつかず現在は販売を中止していますが、1月末くらいには販売を再開できる予定です。

J A周桑（しゅうそう）が運営する「周ちゃん広場」は、新鮮で安全・安心な農産物を低価格で販売する直販所として、2006年3月にオープンしました。当初の出荷者は約450名でしたが、現在では1,045名の方が農産物を出荷しています。店内では地元の農産物はもちろん、地元企業と協力して地元の原材料を使用した餃子やミートソース、ドレッシングなども販売して、地産地消を進めています。

また、周ちゃん広場では、米の消費量が伸び悩むなか周桑米の販売を拡大しようと、平成26年11月から米粉の販売を始めました。周桑米を高知県のJ A土佐れいほくで製粉し、米100%とグルテンを混ぜた2種類の米粉にして店内で販売しています。更に、12月からは、米粉の新たな用途として「お米のラーメン」を開発し販売を始めました。



地元の原材料を使った加工品



お米のラーメンの調理例



販売しているお米のラーメン



米100% (左) とグルテン入り (右) の米粉

J A周桑管内は県下有数の穀倉地帯で、米作中心の農家が多く、米作経営の安定が望まれます。米粉の消費を拡大し周桑米の販売拡大につながるよう「今後は米粉の調理方法をチラシなどで紹介し、米粉の販売を拡大していきたい。また、お米ラーメンが品切れとならないよう商品を増産したい」と白石正司副店長。米粉の新たな用途として、お米のラーメンに期待が寄せられています。

トピックス

【「第17回バケツ稲栽培オリンピック」表彰】

1月6日、愛媛県農業協同組合中央会（JAえひめ中央会）が開催した「JA愛媛食農教育フェスタ2015」で、「第17回バケツ稲栽培オリンピック」の入賞者が表彰されました。

本オリンピックは、JAえひめ中央会が、稲の栽培を通じて児童が農業や稲作を正しく理解し、豊かな感性を育てることを目的として毎年実施しているもので、26年度は2小学校、1団体の81名が参加しました。

審査では栽培経過を記録した観察ノートなどの総合評価により金賞1名、銀賞、銅賞各2名を決定し、金賞・愛媛県知事賞には今治市立亀岡小5年の土屋真也さんが選ばれました。



「JA愛媛食農教育フェスタ2015」受賞者の皆さん



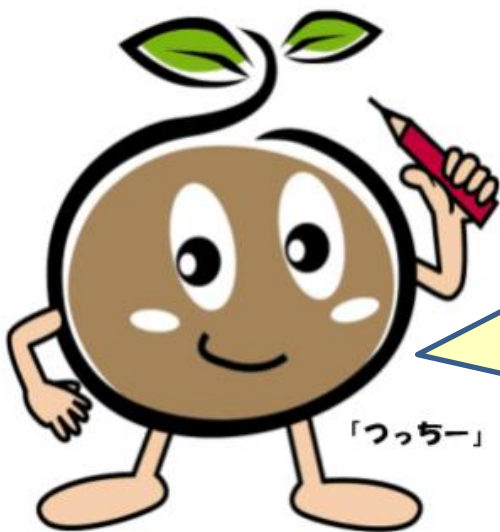
特別賞表彰式の様子

また、5年生の総合学習「食を考える」で地産地消や食料自給率を学習している今治市立朝倉小学校と、子どもたちの食農体験教室にバケツ稲栽培を取り入れているJAえひめ南あぐりスクールに、松山地域センターから特別賞を授与しました。

なお、同フェスタでは、「第39回「ごはん・お米とわたし」作文・図画愛媛県コンクール」の入賞者も同時に表彰されました。

インフォメーション

【2015農林業センサス調査員を募集しています】



今回募集するのは、平成27年4月1日以降に実施する2015農林業センサス「農山村地域調査（農業集落調査用）」の調査員です。

4月から6月の期間に、農業集落の状況に精通している方を訪問して、調査票を配布して記入していただくか、聞き取りにより調査票に記入します。

詳しくは、下記にお問い合わせください。

＝問い合わせ先＝
松山地域センター企画・調整チーム
電話：089-932-1178

編集：中国四国農政局 松山地域センター

〒790-8519 松山市宮田町188番地 松山地方合同庁舎

TEL (089)932-1178 FAX(089)946-2991 <農政局HP><http://www.maff.go.jp/chushi/>

◆各種メールマガジンを配信中（登録はこちらから） <http://www.maff.go.jp/chushi/mailm/index.html>